

2025年12月16日

報道関係者各位

東急不動産株式会社  
東急リゾーツ＆ステイ株式会社  
株式会社 NAC

## ニセコ東急 グラン・ヒラフ ～「Value up NISEKO 2030」プロジェクト第9弾～ 株式会社 NAC の株式取得に関するお知らせ

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明、以下「東急不動産」）のグループ会社である東急リゾーツ＆ステイ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：栗辻 稔泰、以下「東急リゾーツ＆ステイ」）が、北海道虻田郡倶知安町でアドベンチャー事業を展開する株式会社 NAC（本社：北海道虻田郡倶知安町、代表者：ロス・フィンドレー、以下「NAC」）の全株式を取得いたしましたことをお知らせいたします。



### ■株式取得の目的

ニセコエリアは、「JAPOW (Japan+Powder+Snow の造語)」をはじめとした、雄大な自然環境や四季折々の美しい景観、多様な文化が交差する国際的リゾートとして、近年ますます注目を集めています。一方で、グリーンシーズンにおける観光需要の拡大、通年での雇用機会の確保など、オールシーズンでの賑わい創出が課題となっております。今回、ニセコエリアで30年にわたり、グリーンシーズンの賑わいを牽引してきたNACの株式を取得することにより、同社が展開するアウトドアアクティビティやアドベンチャーサービスと、ニセコ東急 グラン・ヒラフのサマーゴンドラやレストラン等の連携を深化し、ニセコエリアの更なる夏の賑わい創出に寄与するとともに、オールシーズン型マウンテンリゾートとしての地位確立を目指してまいります。

### ■ゲストへの提供価値

株式取得に伴い、運営拠点をニセコ東急 グラン・ヒラフに集約いたします。アクティビティ受付は2025年12月20日に開業する新施設「ALPEN NODE」へ移転、その他の機能についてもエースゴンドラ山麓周辺の施設活用を予定しています。これにより、ニセコ東急 グラン・ヒラフがニセコの夏のアクティビティの玄関口となり、「ここに来れば一日中楽しめる」山のテーマパークとしての価値をゲストに提供してまいります。また、NAC がこれまで展開してきたラフティングやマウンテンバイクを活用したガイド事業を拡充することにより、多様なコンテンツの提供にとどまらず、ニセコならではの体験価値をお届けいたします。

## ■前代表 ロス・フィンドレーのコメント

この度、株式会社 NAC は東急不動産株式会社および東急リゾーツ＆ステイ株式会社のグループの一員となりました。私は創業以来、ニセコの大自然とアウトドアの可能性を信じ、地域の皆さまや多くのお客様とともに歩んでまいりました。この場所で築いてきた挑戦と喜びの日々は、私にとってかけがえのない宝物です。

今回、数ある選択肢の中からニセコ東急 グラン・ヒラフを事業承継先として選んだ理由は、グラン・ヒラフがこれまで地域活性化や観光振興に積極的に取り組んでおり、私たち NAC の理念やニセコへの想いに共感いただけたからです。今後の事業発展を託すにあたり、グラン・ヒラフの持つ豊富な経験と経営資源が、NAC の可能性をさらに広げると確信しております。

新たな体制のもと、NAC はこれまで以上に幅広い体験とサービスを提供できるようになると信じています。私の想いもスタッフに受け継がれており、今後も NAC はニセコの発展に貢献し続けてくれることでしょう。これまで NAC を支えてくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

また私は代表としての役割をバトンタッチいたしますが、エグゼクティブアドバイザーとして、引き続き NAC の事業に携わり、現場や企画の面でこれまで培ってきた経験やネットワークを活かしながらグラン・ヒラフの皆さんとともに、より一層ニセコならではの体験や価値を創出してまいります。新しい環境でスタートを切る NAC に、ぜひこれからも変わらぬご支援と温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 NAC

エグゼクティブアドバイザー ロス・フィンドレー

## ■各社紹介

### 東急不動産株式会社

東急不動産は、東急不動産ホールディングス株式会社の中核企業として渋谷に拠点を有する総合デベロッパーです。東急不動産ホールディングス株式会社が 2021 年 5 月に発表したグループ指針となる長期ビジョン「GROUP VISION2030」と 2025 年 5 月に発表した「中期経営計画 2030」の実現に向け、多様なソリューションメニューに基づく豊富な実績や、幅広い事業領域を活かしたグループ連携、パートナーとの共創により、ありたい姿である「価値を創造し続ける企業グループへ」の実現を目指しています。都市事業、住宅事業、インフラ・インダストリー事業、ウェルネス事業、海外事業などを幅広く展開しており、長期経営方針のテーマとして「環境経営」を掲げ、社会に貢献する不動産会社として、都心だけでなく地方での事業展開にも注力しています。

### 東急リゾーツ＆ステイ株式会社

東急リゾーツ＆ステイは、東急ステイや東急ハーヴェストクラブをはじめ、ホテル・ゴルフ・スキー・EC 事業などを全国各地で展開しています。1960 年代から別荘管理やゴルフ場の運営を手がけ、1980 年代にはスキー場の運営や「東急ハーヴェストクラブ」の運営受託を開始。1990 年代には「東急ステイ」を立ち上げるなど、長年にわたり多彩な施設運営を行ってきました。現在、当社が運営する施設では、国内のみならず世界中から多くのお客様をお迎えしており、年間利用者数は約 680 万人にのぼります。

豊富な実績とノウハウ、地域・企業・行政などとの強固なネットワークを活かし、日本各地の魅力を伝え、すべてのお客様に新しい"楽しさ"と"体験"を提供することを目指しています。

### 株式会社 NAC

株式会社 NAC（通称 NAC ニセコアドベンチャーセンター）は国土交通省から観光カリスマとして認定されているロス・フィンドレーが創設した通年型アウトドアアクティビティを企画運営する会社です。

1995 年に開始したラフティングツアーを発端に、北海道の自然を存分に活かした体験ツアーや本格的なレースイベントなど様々な取り組みを重ね、それまで冬中心だったニセコを通年型のリゾート地として大きく成長させてきました。常に楽しさと新たなチャレンジを続けるライフスタイルに共鳴したスタッフが地域国籍を問わず集い、北海道におけるアウトドア観光をけん引する存在としてお客様と一緒にワクワクできる新しい価値の創造とチャレンジに取り組んでいます。

### ■東急不動産が進める「Value up NISEKO 2030」について

2030 年に向け持続可能な発展を目指すリゾート、選ばれ続けるデスティネーションとして、世界に通用する「NISEKO」ブランドを行政・地元企業・地域の方々と連携して、課題解決やエリアの活性化を企図したまちづくりプロジェクトです。2022 年 10 月に北海道・俱知安町と「スキーの町宣言 50 周年を契機とするオールシーズン型国際リゾートの形成に関する包括連携協定」を締結し、スマートリゾート推進のほか、スキー場の索道更新などのハード面整備だけでなく、オールシーズン化に向けた施策などソフト面の取組みも地域連携を強化して取り組んで参ります。ソフト面の取組みとして、グリーンシーズン活性化に向けた取組みの他、"ファーストトラック"の権利を付した国内初のスキーNFT「Niseko Powder Token2.0」の実証実験や積雪を利用した発電事業の社会実装実験、スキーバレーサービスの試験運用を実施しました。ニセコ東急 グラン・ヒラフは、「アジア No.1 の国際的リゾート」の実現を目指し、来場者の体験価値向上に向け、今後も複数の取組みを推進してまいります。なおこれまでお知らせしてまいりました Value up NISEKO 2030 プロジェクトについては、下記 URL よりご参照ください。

<https://www.tokyu-land.co.jp/wellness/resort/niseko.html>

<本リリースに関するお問い合わせ先>

東急不動産株式会社 広報室 林・高橋 E-mail : [tlc-hodo@tokyu-land.co.jp](mailto:tlc-hodo@tokyu-land.co.jp)

東急リゾーツ＆ステイ株式会社 ブランディング広報室 平田 E-mail : [koho@tokyu-rs.co.jp](mailto:koho@tokyu-rs.co.jp)

株式会社 NAC 広報担当 岩崎 E-mail : [kei@nacadventures.jp](mailto:kei@nacadventures.jp)